

ご存じですか！文化財

65

「玉敷神社のフジ」

県指定天然記念物 平成14年3月22日指定



問合せ
生涯学習課
(☎0480・62・1223)



所在地 騎西535-1

玉敷神社のフジ(玉敷公園内)はノダフジの一種で、樹齡は約400年と推定されます。幹まわりは約4.8メートル、枝張りは約700メートルにもおよび、県内でも有数の巨木です。

この木は、若山家(戸室地内)にあったものを「騎西の町の観光資源にしたい」という、騎西町商店会有志の度重なる要請により、昭和8年に同家から玉敷神社に奉納されました。玉敷神社へフジを移す際には、根本の部分をトラックに乗せ、枝の部分は何台もの荷車で運んだそうです。

フジは旧騎西町のシンボルとして多くの人に親しまれ、昭和50年に町制施行20周年を記念して町の花に制定されました。

かねてより「玉敷神社の大藤」としてその名が知られ、花房は1メートル余りにも達します。また、これほどの広がりをもつフジは珍しく、藤まつり(昭和10年より開催)が行われる5月上旬ごろには満開となり、薄紫色の花が薫風に揺れる様子とほのかに漂う芳香は、まつりに訪れた人々の心を癒してくれます。

